

まじはり

「信者の模範」

「こうして、マケドニアとアカイアにいるすべての信者の模範となったのです。」

(テサロニケの信徒への手紙一 第1章7節・新約聖書366頁)

はじめに

テサロニケはパウロがマケドニアに渡って、フィリピの次に訪れた大きな町です。パウロがコリントにいた際、教会が直面している困難を、合流したシラスとテモテから聞き、励ましの手紙を書きました。今日、私たちも、自分たちにもあるくじけそうな心を認め、真摯にパウロからの励ましに耳を傾けたいと思います。

テサロニケの信徒たち

パウロの伝道方法は、まず寄留のユダヤ人たちが集う会堂で、旧約聖書に預言されている救い主は主イエスであるとの証しをすることでした。短期決戦であり、そのためにはある程度聖書を知っている方が救いを説くのに有効だったからです。テサロニケでも救われる者たちが起こされるのですが、それまでのパウロの歩みを知っている者たちは「世界中を騒がせてきた連中が、ここにも来ている」と町の自治責任者に訴え、騒ぎを起こします。命の危険を察した協力者たちは、パウロを隣の町ベレアに逃がしました。この間、3週間(17:2)でしたが、この期間でテサロニケに教会が築かれたのです。

ただ、残された信徒たちは逃げるわけにはいきません。救いを受けて喜んだものの、その喜びとは裏腹、厳しい現実が待ち受けていました。

パウロの心配

まだ3週間しかたっていない、若葉マークの信徒たちの試練。パウロの心配も痛いほど分かります。「祈りの度ごとに」祈っていました。

私たちも、救いを受け、喜びに満たされていますが、そこに住んでいるがゆえに、変わらぬ現実、いや、信仰をもったことで逆風にさらされている毎を送らなければなりません。それは信仰の年数には関係なく、起こってきます。

しかし、下を向いてはなりません。パウロにこの手紙を書かせた神は、それを承知だからこそ、この手紙を残し、私たちに示してくださっているのです。

模範になるために

テサロニケの信徒たちは、そのような中で「信徒の模範」となりました。どのような生活をしていたのでしょうか。まず「主イエス・キリストに希望を置いて忍耐」していたからです。パウロはローマの信徒に「苦難を誇りにしている。それは希望を生み出し、その希望は失望に終わらないからだ」(5:3)と言っています。彼らはそれを実感していました。次に「神に選ばれたことを知っていた」からです。神の選びは、神が責任を持ってその人を守り、祝福することであり、彼らはそれをも味わっていました。そして、「御言葉を受け入れ」ていたからです。ベレアの人よりも疑い深く、素直でなかったようですが(使徒17:11)、「聖霊によって」その姿勢が変えられていったのです。御言葉は私の魂を生き返らせる力があります。彼らはこれらをもって、試練に向かい、模範的な信仰生活を送ることができたのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「こうして、マケドニアとアカイアにいるすべての信者の模範となったのです。主の言葉が、あなたがたのところから出て、マケドニアやアカイアに響き渡っただけでなく、神に対するあなたがたの信仰が至るところに伝わっているので、私たちはもう何も語る必要はありません。」(テサロニケの信徒への手紙一1:7～8)

「苦難をも誇りとしています。苦難が忍耐を生み、忍耐が品格を、品格が希望を生むことを知っているからです。この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えら



れた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。」(ローマの信徒への手紙5:3～5)

神さま、私は主イエスさまの救いを受けました。ほんとうにうれしく、心が躍りました。しかし、ふとした瞬間に、現実に戻されるようなことが起こりました。まわりの環境は何も変わっていないのです。そして、私の苦しみも過ぎ去ることはありません。しかし、私はテサロニケの信徒の人たちのように、そこに希望を見だし、強められていきたいと思います。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (77) 第4章5節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「知恵を得よ、分別を得よ。私の口が語ることを忘れることなく そこからそれるな。」

◎口語訳 「それを忘れることなく、またわが口の言葉にそむいてはならない、知恵を得よ、悟りを得よ。」

◎新改訳 「知恵を得よ。悟りを得よ。忘れてはならない。私の口の授けたことばからそれてはならない。」

「私の口」

ここで父は「私が語ることを」とは言わず、「私の口が語ること」と、言っています。どう違うのでしょうか。

ヘブライ語の「口」は、肉体の器官から発声するということよりも、その人の人格を伴った心から出てくる思想、考え方を示しています。ですから、それはただ単に教科書を読んでいるような伝え方ではなく、その人の体験を通して培われた証しに基づき、相手に対する愛情を傾けた言葉だと言えます。

また、聞く方の側として、「口」は権威を表すものでもありました。これは神によって語られ、与えられた言葉を伝える時の「口」であり、例えば、モーセが「語れない」と言った時に、「アロンがあなたの口になる」(出エジプト4:16)と

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵(1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵(10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵(22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉(22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉(25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉(30:1～33)
 - d レムエルの言葉(31:1～31)

言われていますが、「口」が「権威の代弁者」の象徴されているわけです。

この父の言葉も、単なる助言ではなく、「神から授けられた権威ある教え」としての重みを持たせていると言えます。「軽々しく聞き流せるような教えではないぞ」と子に対して傾聴を促しているわけで、子は心に刻むように受け止めようとしたはず。「人は心で信じて義とされ、口で告白して救われる」(ローマ10:10)も同様に「口」がその人の生き方を表すものとして使われています。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

列王紀上第16章28節「オムリは先祖と共に眠りに就き、サムリアに葬られた。その子アハブが代わって王となった。」◆イスラエル王国は反乱と暴虐に満ちていた。誰が敵か味方かわからないような混乱の中、軍を掌握していたオムリが国を平定する。そして、シエメルという人物から銀二キカルで買った土地に「サムリア」を建てた。首都機能を持たせると同時に偶像を建てる。その後、サムリアは神に背き続けるイスラエルを象徴する場所となって、神から離れた、祝福から遠ざかった世界の結末を語るようになる。

●賛美 / 445 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

列王紀上第17章1節「私が仕えているイスラエルの神、主は生きておられる。」◆オムリの子アハブは、バアルの祭司の娘イゼベルを妻としたことで、イスラエル王国史上、最も暗黒の時代を迎える。しかし、神は、あえてこの時代に大預言者エリヤを登場させるのだ。烏に養われた後、エリヤは命の危険にさらされる中、イスラエルの国々を歩き巡り、神が生きておられる方であることを伝えていく。「かめの小麦粉は尽きず、瓶の油がなくなることはない」(14)。それは、エリヤに注ぎ続ける神の力でもあった。

●賛美 / 446 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

列王紀上第18章39節「これを見た民は皆その前にひれ伏し、『主こそ神です。主こそ神です』と言った。」◆この箇所を読むたびに、励まされる。エリヤはひとり、バアル(男神)の預言者450人、アシラ(女神)の預言者400人での対決である。その対決を見に来た人々の中には、恐怖政治がしかれていたため、自分の信仰を表明できなかった者もいたはずだ。彼らは、火がくだり、神が生きておられることを間近にしたことで、信仰の力が宿り、預言者たちを捕らえる勇気が与えられた。力強い証しは、なえた信仰者をも回復させる。

●賛美 / 447 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

列王紀上第19章3節「それを聞いたエリヤは恐れを抱き、命を守ろうと直ちに逃げて、ユダのベエル・シエバに行き着いた。」◆あれほど勇ましい信仰の戦いをしたエリヤが、イゼベルの一言で恐ろしくなって逃げた。「わたしの命を取ってください」とまで言っている。エリヤも私たちと同じであったわけだ。おそらくこの時、エリヤは「神」を見失ったのだ。私たちもすばらしいみわざを経験した後でよく起こるのだが、少しでも自分の力であると思ってしまうと、途端に、神に栄光を帰すことを忘れ、隙ができる。エリヤは神の山で信仰を回復した。私たちも気をつけたい。

●賛美／448 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

列王紀上第20章42節「それゆえ、あなたの命が彼の命の代わりとなり、あなたの民が彼の民の代わりとなる。」◆アラムとイスラエルの戦いの出来事が記されている。イスラエルといえども神の民である。偶像の国アラムを倒さなければならなかった。ましてや有利な戦いを進めていたのに、なぜかアハブは敵のベン・ハグドと和睦を結んでしまう。主はその態度に、ひとりの預言者を遣わし、アハブに「ベン・ハグドの代りにあなたが死ぬ」と告げる。果たしてその通りになるのだ。信仰の敵に対し、妥協をしてはならない。

●賛美／449 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

列王紀上第21章25節「確かにアハブほど、主の目に悪とされることに身を委ねた者はいなかった。峻したの妻のイゼベルである。」◆アハブほど不信仰な行動をした者はなかったのだが、それはイゼベルがそそのかしていたからでもあった。ナボトの畑の事件も気の弱いアハブがいじけてあきらめていたのに、悪女イゼベルは「殺して取ったら良いじゃないか」とけしかけている。私たちの身近に、自分に悪影響を及ぼす存在があったとしたら、それはあなたが勇気をもって断ち切らなければならないものかもしれない。

●賛美／450 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

列王紀上第22章5節「ヨシャファトはイスラエルの王に、『どうかまず主の言葉を伺ってみてください』と言った。」◆アハブはユダの王ヨシャファトと友好的な関係を持っていたが、信仰姿勢は対照的だった。共通の敵アラムを攻めるべく、事を進めようとするアハブに、まず「主の言葉を聞こう」と言う。アハブは、「いつも自分に都合の良いことを言わないから聞かないでもいい」と渋っている。私たちの信仰の姿勢はどちらだろうか。自分の立てた計画が最善であるとして、だれがなんといってもそれを修正しないという態度は、行き詰まりや挫折を生みやすい。

●賛美／451 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【ルカによるふくいんしよ 10:25～37】

「となりのひとを あいする」

(ルカ10:27)

イエスさまは かみさまをしんじることが どのに たいせつなことなのか、そして、かみさまをしんじていくと、どのようなことがおこるのかを おおくのひとたちにつたえ、あるきました。そのなかには いままで せいしよのおしえを けんきゅうし、イスラエルの ひとたちを しどうしてきた ひとたちも ふくまれました。

しどうしゃや せんもんかは「せんせい」といわれ、えらぶっていたのですが、イエスさまのおしえが わかりやすく、そしてなによりも すばらしいおしえだったので、みんなが いえすさまのはなしを ききにいったので、せんせいたちは イエスさまの にんきが でないように、むずかしいしつもんで こたえられないようにして、じふんたちが どのに すばらしいのかを ほころうとしました。

そしてあるひ、イエスさまがみんなに おしえているところで、はじめをかせようとして しつもんしたので。

「せんせい、なにをしたら えいえんのいのちをうけつぐことができますか」

「あなたは リっぼうに なんと かいてあるかわかっているでしょ」

「かみをあいすること、りんじんをあいすることです」

「それをじっこうしなさい」

「ではわたしのりんじんとは だれですか」

しつもんした リっぼうの せんもんかは ほんとうのことを なにもしらなかったのです。

イエスさまは「よい サマリアじん」という はなしをして、いうだけでなく、また しているだけではなく、かみさまの みことばにしたがい それをおこなうこと がたいせつなのだと おしえられました。

そのたとえを かたったあと、イエスさまはそのひとに、「いって、あなたも おなじように しなさい」といわれました。

●かんがえてみよう

☆リっぼうの せんもんかは なぜ、イエスさまに しつもんをしたのですか(ルカ10:25)

☆イエスさまが かたられた たとえはなしのなかで、「りんじんを あいしなさい」という かみさまのおしえを じっこうしたのは だれでしたか。(ルカ10:33～36)

☆イエスさまは さいごに そのひとに なんといわれましたか。(ルカ10:37)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

それをじつこうする

じ	つ	れ	す	こ	う	る		
る		れ	こ	う		す	を	
	こ	う	じ	る		つ	れ	
れ		る	つ	こ	じ	す		う
そ	う	つ			る	れ		こ
こ			う	れ	そ	る	を	つ
つ	じ	こ	そ	を	れ			す
	れ			う		そ	こ	
う		そ	す	じ	こ		つ	れ

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

（サムエル記下5章）

- ① いぎまんかに
- ② はがわんたい
- ③ かんもんせ
- ④ どくのき

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「新しい道路」

工事中だった、町田街道の「多摩ニュータウン入口交差点」から、角にサンドラッグのある「東橋本二丁目交差点」間の道路がやっと完成しました。

この道路は国道20号線につながっている「多摩ニュータウン通り」と言いますが、京王相模原線に沿っていて、多摩センターや南大沢を抜け、町田街道を横断し、うちの教会の横を通って、国道16号につながります。だからなのかも知れませんが、オハラグラウンド知格のJRの踏切が閉まる

と、すぐに渋滞するようになってしまいました。それだけ交通量が増えたんですが、流れが変わったことで、逆に、抜け道に使われていた細い生活道路に車が来なくなりました。

今、うちの近くの「宮下交差点」も同様に、町田街道からの道を通そうとしています。用地の買収がほぼ終わったようで、今まで建っていた家がどんどん取り壊され、かなり先まで見渡せるようになっていきます。この道路ができると、ベルクのある道の方が寂しくなっていくはずですが、ベルクとしたら死活問題と言えます。大打撃じゃないでしょうか。

新しいものができるのと人の流れが変わります。今後の都市計画も参考に、教会の立地を考えるべきかと思います。

聖書ふれあい街歩き

●マケダ

ヨシヤたちをまんまとだまして保護される立場になったギブオンのことを聞き、周辺の王たちは連合軍を組んでギブオンに向かいます。

ギブオンは支援要請を受けて5カ国連合と戦い、敗走させます。そして王たちが逃げ込んだのが「マケダの洞穴」でした。規模はわかりませんが、護衛する兵もいるわけですから、かなりの人数になりますので、巨大洞穴かと考えてしまいます。

砂漠の都市ペトラに行った時、入口は幅5mほどしかないのに進んでいくと、広大な盆地となっていて、半円形劇場もあるような都市跡が現れ、驚いたことがあります。時間をかけて水流が岩盤を削ってできたものだと思います。恐らくこの洞穴もそうした地形だったのでしょう。入口を塞がれ、一巻の終わりとなりました。手引きをしたのかわかりませんが、マケダの王も滅ぼされてしまいます。

このマケダはエルサレムの南西、ラキシユの近辺にあったと考えられます。石灰岩の地形も多いため、至る所に隠れ場所となる洞穴があったのでしょう。ヨシヤ 15:41 では、ユダ族の領地の一部として再登場しますが、その後には出てきません。

ななめ聖書 先週のこたえ

い	す	ん	べ	な	ゆ	き	る	か
か	ゆ	る	ん	き	い	べ	な	す
な	べ	き	る	す	か	ん	い	ゆ
ん	い	か	な	ゆ	き	す	べ	る
ゆ	る	す	か	ん	べ	い	き	な
き	な	べ	す	い	る	か	ゆ	ん
す	ん	い	き	る	な	ゆ	か	べ
る	か	ゆ	い	べ	す	な	ん	き
べ	き	な	ゆ	か	ん	る	す	い

- ①ごうもんがかり
- ②ちょうけし
- ③たらんとん
- ④しゃっきん



エフェソからマケドニアへ

この騒動が収まった後、パウロは弟子たちを呼び集めて励まし、別れを告げてからマケドニア州へと出発した。

そして、この地方を巡り歩き、言葉を尽くして人々を励ました後、ギリシアに来て、そこで三か月間過ごした。

パウロは、シリア州へと船出しようとしていたとき、彼に対するユダヤ人の陰謀が起こったので、マケドニア州を通して帰ることにした。

同行した者は、ピロの子でベレア出身のソパトロ、テサロニケのアリスタルコとセクンド、デルベのガイオ、テモテ、それにアジア州出身のティキコとトロフィモであった。

(使徒言行録20:1~4)



働き人は各地からパウロのもとに集まった

【同行した者】

パウロの弟子たちは日ごとに増していった、と同時にパウロの伝道によって町々にできていた「教会」へと派遣されていったと思われます。どこでパウロに同行し、どこで別行動を取ったのか、記述が少ないので、推測するしかありません。機会があれば、パウロの伝道旅行の行程と共に同行者が誰だったのか、わかるような図を作りたいと考えています。この箇所ではめずらしく、「同行した者」の名が記されていますので、どのような人物であったのかを解説しておきます。

●ソパトロ

ピロの子で、マケドニア州ベレア出身だと記されていますが、ユダヤ人です。ベレアはパウロがマケドニアに渡り、フィリッポを通してテサロニケを訪れています、マケドニアに寄留し、生活していたユダヤ人たちが「世界中を騒がせているやつが来ている」と位で騒ぎを起こし、身の危険を感じた信者たちがパウロを促して夜に脱出させます。その待避場所がベレアでした。パウロはベレアでもユダヤ人会堂で御言葉を語ったのですが、ベレアにいたユダヤ人たちは「テサロニケのユダヤ人よりも素直で、非常に熱心に御言葉を受け入れ、そのとおりかどうか、毎日聖書を調べ」るほどでした(使徒17:11)その中にいた一人がソパトロであったはずで、「ピロの子」とあるのは「ピロ」の名が知られていたことを意味し、そうすると、ユダヤ人でもあったので、エルサレム教会に献金を届ける役割を担った可能性があります(ローマ15:25~27、コリント二8章)。ピロの一家が熱心な信者であり、その子、ソパトロはパウロに仕え、働き人になったのでしょうか。ソパトロと

の名は「父に救われた者」との意味があるので、父のピロが導いたのかもしれませんが。

ローマ16:21に出てくるソシパトロは同一人物だろうと言われています。

●アリスタルコ

テサロニケの出身者です。彼はたびたび登場しています。パウロのテサロニケ伝道の際に救われ、そのまま同伴していて、パウロがエルサレムに帰る際(第2回伝道旅行終盤)にはコリントに留まって、その後エフェソでパウロと合流(第3回伝道旅行)。デメトリオの事件の際に群衆に捕らえられてしまうのですが(使徒19:29)、ほどなく解放され、パウロのもとに戻った後は、囚人となったパウロがローマに向かう船にも乗っています(使徒27:2)、ローマに着いてからもパウロから離れずに付き添っていることがわかります(コロサイ4:10、フィレモン1:24)。

●セクンド

アリスタルコとコンピになっています。彼もテサロニケ出身者でしたが、この「セクンド」が本名であったか判別できません。というのも、このセクンドはラテン語で「第二の者(セカンド)」との意味で、ローマ社会での階級において下層階級を表した言葉だからなのです。アリスタルコはその扱いや名からして上層階級出身者と思われ、身分は大違い。アリスタルコと同様、セクンドもパウロと行動を共にしたと思われるのですが、彼の名はここだけにしか登場していないのはそのためでしょう。ところがその二人がコンピを組んで、主に仕えているのです。身分の違いを超えて福音のために心を合わせて働く。その時代には考えられないことでした。なんと美しい関係でしょうか。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されておられ、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

